

大平喜信
前衆議院議員

現場の声、庶民の怒り しっかり受け止め まっすぐ国に届けて

市民と野党の共闘 共産党の躍進で 安倍政治の退陣を

参院選・統一地方選での日本共産党の躍進を



島根県中部地震発生後、直ちに現場を訪れ、被害実態の調査と被災者支援に駆けつけました。(4月10日)



生活保護問題で国の「生存権をおびやかす生活保護引き下げは許さない!」…大平さんは岡山で補佐人として行政不服申し立ての意見陳述しました。(5月31日)



参院選・統一地方選勝利へ…今年に入ってから地方選で日本共産党は連戦連勝・議席を7議席増やしました。(写真は1議席から3議席に躍進した米子市議選・6月24日)



広島県労働局へ無期転換ルールに関する申し入れ。クーリング期間悪用などの脱法行為や合理的理由のない雇い止めを絶対におこなわせないよう対策を求めました。(写真中央は仁比聡平参議院議員・2月15日)



米軍岩国基地への空母艦載機移駐以降、岩国基地周辺、さらに中国地方各地に爆音被害・低空飛行の被害が広がっています。日本共産党は「基地シンポ」を開催し、市民の皆さんとたたかひの方向を議論しました。(6月2日岩国市)

日本共産党

日本共産党の大平喜信前衆議院議員は、昨年10月の総選挙で議席を失って以降の10か月、「要求があるところ、たたかひのあるところに必ず」と現場を訪ねてきました。そして、その要求を国政に届けるため政府交渉などに取り組んできました。写真でその活動を紹介します。



動画を
ご覧ください→